

幼保一体化に向けて、幼稚園教諭・保育士に求められることとは？

～幼保研修の成果と課題から～

日時 2012年10月7日(日) 13:00～15:30
場所 香川県社会福祉総合センター 1F・コミュニティーホール

〒760-0017 香川県高松市番町1-10-35 TEL: 087-835-3334

登壇者

大妻女子大学・教授	柴崎 正行
愛知東邦大学・教授	矢藤 誠慈郎
北海道大学・准教授	川田 学
三豊市立大野幼稚園長	小野 美智子
三豊市立豊中保育所長	佐久良 恵都子



◆主旨

今年の2月18日、子ども・子育て新システム検討会議作業グループの下、「子ども・子育て新システムに関する基本制度とりまとめ」が公表されました。

それは、幼保一体化に向けた「総合こども園(仮称)」の創設を提起し、多くの施設の暫時移行を進めるというものでした。

後にこの創設案は撤回されましたが、今後も就学前の子どもに対する教育・保育の総合的な議論は続けられるでしょう。

しかしこれまで「どのような子どもを育てたいのか」という、子ども像に関する議論はされぬままです。

このような教育・保育の根幹が不明確な中、平等で質の高い教育・保育を行うために、幼稚園教諭・保育士に求められるもの、またその研修はどうあるべきでしょうか。

県下の好例としましては、三豊市で4年目を迎える幼保研修の成果、またそこからの課題があります。

今後、幼保一体化の進む中、幼稚園教諭・保育士の役割は？

全国で行われている研修の動向も含めながら、考えていきたいと思えます。

- ◆主催 香川大学教育学部
- ◆共催 三豊市・三豊市教育委員会
- ◆後援 高松市・高松市教育委員会・坂出市・坂出市教育委員会